本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

この度は弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。
なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

P

USER'S GUIDE
2209＊JA

CASIO

安全上のご注意

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。



※ 本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。
①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

ご使用上の注意

■防水性
● 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウィンドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング(アクアラング)でのご使用はお避けください。
● 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
● 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
● 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
● 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド
● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■ショック
● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■温度
● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
● +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
● 低温下で使用し、ボタン部分が凍結した場合、ボタン操作ができなくなることがあります。常温に戻ればボタンは正常に作動します。
● 低温下でアラームを使用すると表示が見えにくくなったり、消えたりすることがあります。常温に戻れば正常に作動します。

■磁気
● 磁気の影響はありません。

■薬品類
● 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管
● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

電池交換について

■最初の電池
● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消　耗
● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換
● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

お手入れについて

■お手入れのしかた
● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
● 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると
「サビ」 ●ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
●表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して衣類の袖を汚すことがあります。
「劣化」 ●樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり折れたりすることがあります。
「かぶれ」 ●皮膚の弱い方やアレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合にはそのバンドの着用を中止し皮膚科の専門医にご相談ください。
●特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■蛍光商品のお取り扱いについて
蛍光部品のケース／バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
● 長時間、直射日光に当てますと、色あせする場合があります。
● 長時間、濡れたままにしておくと色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくと、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■塗装商品のお取り扱いについて
塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
● 塗装部品は使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗したり、色落ちすることがあります。
● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■液晶パネルの交換について
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル(表示照明部)の交換について
表示照明用として本機に使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

ライト点灯について

時刻モード、アラームモード、各セット状態のときにⒺボタンを、タイマーモード、ストップウオッチモードのときにⒷボタンを押すと約２秒間文字板が発光します。（このとき文字板のアニメ表示が動きます）

（例：時刻モードのとき）



＜MEMO＞
ボタンを押すタイミングでアニメ表示の内容が替わります。（４種類）
ただし、セット中（表示点滅）はアニメ表示を行ないません。

＜ご注意＞
●直射日光下では、発光が見えにくくなります。
●発光中に電子音が鳴ると発光を中断します。
●発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時・分・秒、午前（A）／午後（P）／24時間制表示、月・日・曜日、フルオートカレンダー（1995～2039年）
タイマー機能：タイマー　3本
セット単位＝分
セット範囲＝60分
計測単位＝1/10秒
残り時間5分／0秒時に電子音とライトで報知
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝59分59秒99（60分計）
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリット計測、1・2着同時計測、オートスタート機能
アラーム機能：時刻アラーム　5本
セット単位＝時・分
電子音＝20秒間
時報
毎正時に2回電子音で報時
その他：自動復帰機能、12／24時間制表示切替、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
CMOS-LSI
使用温度範囲：－20℃～60℃
使用電池：CR-1616（電池別途販売）
電池寿命：約15ヶ月
（電子音20秒間／日、ライト2秒間／日、タイマー1回／週、オートスタートストップウオッチ1回／週使用した場合）

操作のしくみと表示の見方 Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻モード

現在時刻の秒に連動して点灯／消灯を繰り返します。

20秒ごとにアニメ表示の内容が変わります。（3種類）



＜曜日の見方＞

SU：日	MO：月	TU：火	WE：水
TH：木	FR：金	SA：土	

★12／24時間制表示切替について

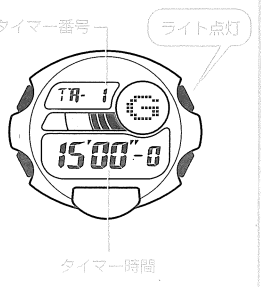
時刻モードで、Ⓓボタンを押すごとに、12時間制表示（午前A／午後P）と24時間制表示とが切り替わります。

★表示切替について

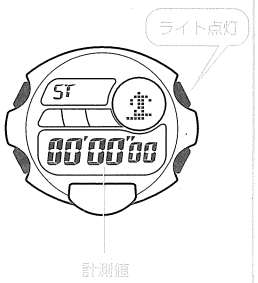
時刻モードで、Ⓑボタンを押すごとに「曜日・日」と「月・日」の表示が切り替わります。



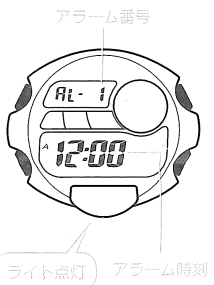
タイマーモード



ストップウオッチモード



アラームモード



Ⓒ

時刻・カレンダーの合わせ方 以下の操作は時刻モードで行ないます。

電池交換後などで、時刻やカレンダーが合っていないときは、以下の方法でセットします。

■時刻の合わせ方

月に１度くらいこの「秒合わせ」をすると、時刻はいつも正確です。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「秒」が点滅します。



●「秒」合わせ…30秒以内の遅れ／進みの修正

時報に合わせて、Ⓓボタンを押します

➡「00秒」からスタートします。

※秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分繰り上がって「00秒」になります。（時報は「時報サービス117番」が便利です）



●「時刻・カレンダー」合わせ

a. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動します。



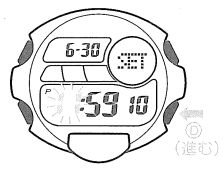


b. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡数字が１つ進みます。

※押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓓ ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、24時間制にご注意ください。

※「年」は1995～2039年の範囲内でセットできます。正しく年月日をセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正する必要がありません。

2. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

タイマーの使い方 Ⓒ ボタンを押して、タイマーモードにします。

本機には、1分単位で最大60分までセットできるタイマーが３本あります。残り時間が０秒になると、10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

■タイマー時間の設定

1. タイマー番号を選ぶ

タイマーモード（計測リセット状態）のとき、Ⓓボタンを押します

➡「タイマー1→2→3→タイマー1…」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいタイマー番号を選びます。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「分」が点滅します。

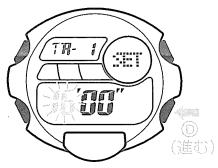


3. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡数字が１つ進みます。

※押し続けると早送りします。



4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

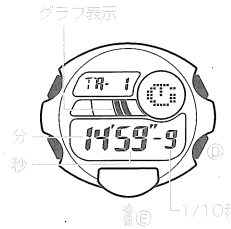
※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■タイマーの使い方（減算計測のしかた）

準備：タイマーモードのとき、Ⓓボタンを押して、タイマー時間を選びます。

Ⓔ ボタンを押します

➡Ⓔ ボタンを押すと計測を開始します。

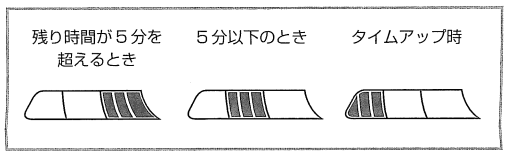


★計測中にⒺボタンを押すと計測が一時的に中断します。（STP 点灯）もう一度Ⓔボタンを押すとその時点から計測を再開します。

★「タイムアップ後」または「計測中断後Ⓓボタンを押す」と、計測前の表示に戻ります。

残り時間が5分、0秒（タイムアップ）になると、電子音、ライト、アニメ表示で知らせます。

★ 減算計測中のグラフ表示について



※計測中のグラフ表示は残り時間に連動して点灯／消灯を繰り返します。

ストップウオッチの使い方 Ⓒボタンを押して、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは、1/100秒単位で59分59秒99（60分計）まで計測できます。（計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます）

また、スタートの５秒前からカウントダウンを開始し、３秒前から１秒ごとに電子音で報知することができます。

■計測のしかた

Ⓔ ボタンを押します

➡ストップウオッチモードのとき、Ⓔボタンを押すと計測を開始します。



＜通常スタート表示＞

★計測中にⒺボタンを押すと、計測が止まります。このときもう一度Ⓔボタンを押すとその時点から計測を再開します。（積算計測）

★計測中にⒹボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります。（SPL 点灯）

★計測値を0に戻す（リセット）には計測終了後Ⓓボタンを押します。

●通常計測

Ⓔ → Ⓔ → Ⓓ

スタート　ストップ　リセット

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

Ⓔ → Ⓓ → Ⓓ → Ⓔ → Ⓓ

スタート　スプリット　スプリット解除　ストップ　リセット

● 1・2着同時計測

Ⓔ → Ⓓ → Ⓔ → Ⓓ → Ⓓ

スタート　1着ゴール（1着タイム表示）　2着ゴール　2着タイム表示　リセット

■オートスタート機能

オートスタート機能とは、スタート（計測開始）の5秒前からカウントダウンを開始し、3秒前から1秒ごとに電子音で報知するものです。この機能により、スタート時のボタン操作を行なうことなくスタートと同時に計測を開始することができます。

★ オートスタート表示にするには

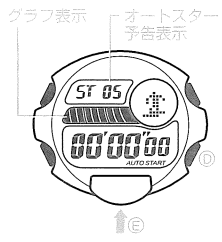
計測リセット時（00′00″00）にⒹボタンを押すごとに、通常スタート表示とオートスタート表示とが切り替わります。



＜オートスタート表示＞

★ オートスタートで計測を開始するには

オートスタート表示のときⒺボタンを押すと、５秒前からのカウントダウンを始めます。



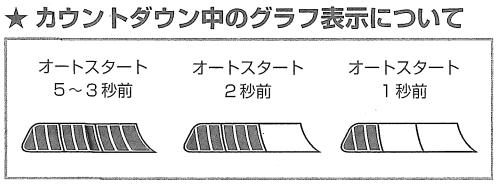
● カウントダウン中に計測を中断するとき…

Ⓓボタンを押します。オートスタート計測前の表示に戻ります。

● カウントダウンを中止し、即スタートするとき…

Ⓔ ボタンを押します。

★ カウントダウン中のグラフ表示について



※計測開始後は、通常のストップウオッチのボタン操作と同様になります。

アラームの使い方 Ⓒ ボタンを押して、アラームモードにします。

本機には、時分を設定できるアラームが５本あります。設定した時刻になると20秒間の電子音が鳴り、“ ” マークがアニメ表示されます。

また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

■アラーム時刻のセット

1. アラーム番号を選ぶ

アラームモードのとき、Ⓓボタンを押します

➡「アラーム1→2→3→4→5→時報→アラーム1…」の順で表示が切り替わりますので、セットしたいアラーム番号を選びます。

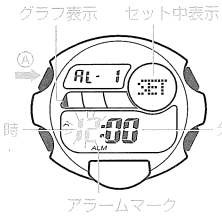


2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約２秒間押します

➡「時」が点滅します。

※アラームONとなり、アラームマークと該当のグラフ表示が点灯します。

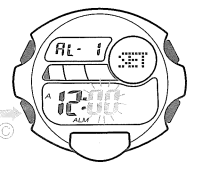


3. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇔「分」で移動します。

時 ⇔ Ⓒ ⇔ 分

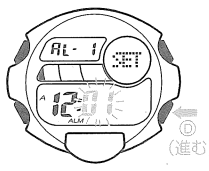


4. 点滅箇所のセット

Ⓓ ボタンを押します

➡数字が１つ進みます。

※押し続けると早送りします。



Ⓒ ボタンでセットしたい箇所を選び、Ⓓ ボタンで数字を選ぶ操作を繰り返して、アラーム時刻を合わせます。

※「時」のセットのとき午前（A）／午後（P）、24時間制にご注意ください。

※基本時刻を24時間制に設定しているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まります。

※点滅表示のまま２～３分間すると、自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓボタンを押して、鳴らしたいアラーム番号を選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

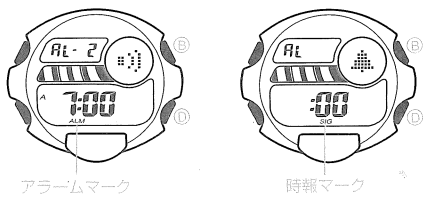
Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓑボタンを押すごとに、マークが点灯／消灯します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。

※アラームONにすると、“ ” マークと該当のグラフ表示が点灯します。

※時報ONにすると、“ ” マークが点灯します。

＜アラーム2表示＞　＜時報表示＞



■デモアラーム

アラームモードのとき、Ⓑボタンを１～２秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

■鳴っているアラーム音を止めるには

Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ Ⓔ ボタンのいずれか１つを押します。